

NO.1

平成30年度
事業報告書

自：平成30年 4月 1日

至：平成31年 3月31日

社会福祉法人 あおい会

社会福祉法人あおい会本部

平成 30 年度事業報告

平成 30 年度は、「平成」元号最後となる年となりました。

平成の時代は災害の多い時代となりました。あおい会においても、あさも園太陽の丘は台風 21 号の影響でフェンス(あさも園)大型ガレージのシャッター(太陽の丘)がそれぞれ被害を受けました。幸い人的被害はなく幸いでした。

30 年度は人材確保には大変苦勞をしました。特に太陽の丘に関しましては、退職された職員の補充が困難を極めいまだに欠員の状況が続いています。

あさも園、もなみの職員採用に関しては、応募者もあり補充されてきましたが、太陽の丘の面接希望者は大変少なく、あさも園、もなみ職員採用時の面接で入所施設太陽の丘の勤務について意向を聞いてみましたが、夜勤がしたくないという意見の人が圧倒的でした。

太陽の丘の建て替えにつきましては、令和元年度に申請書の提出を予定していましたが、2020年のオリンピックや2025年の大阪万博等による諸々の課題(建設費の高騰・建設資材不足・工期の遅れ等)と設計士の業務多忙のため次年度に繰り越す予定をしています。

法人の懸案事項として、法人全体を通してここ数年赤字が続いています。

その原因としては処遇改善手当の支給、一部事業の赤字があげられます。

処遇改善手当につきましては、やはり民間企業との給与格差、職員の仕事への意欲向上に向けても必要な限り継続していきたいと思えます。

一部赤字事業をどうするか、株式会社であれば間違いなく廃止の方向で決断されると思えます。しかし、社会福祉法人としての使命、地域貢献等を考えると株式会社のように簡単に廃止と決断はできません。

特に、地域貢献が問われる時代となってきたことを鑑みても早急な回答は避けなければならないと思えます。今後は管理者会議での検討課題として行政をも交えながら、社会福祉法人としての解決策を見いだしていきたいと考えています。

平成30年度事業報告

あおい学園

1. 定員と現員 (H30年度末)

定員 30名 現員 30名

利用延べ人数 6,320名

開園日数 234日

2. 入園児・卒園児数

入園児 12名 (H30年4月)

卒園児 12名 (H31年3月)

3. 月別在園児数 (契約者数)

4月～3月 30名

4. 年齢別園児数 (H30年度末)

1才	2才	3才	4才	5才	6才
0名	0名	0名	10名	9名	11名

5. 障害程度 (H30年度末)

療育手帳	A1 0名	A2 2名	B1 8名	B2 15名	計 25名
------	-------	-------	-------	--------	-------

6. 住所内訳 (H30年度末)

和歌山市	30名	他	0名
------	-----	---	----

7. 療育支援

発達に遅れのある就学前の幼児が、毎日通園して集団生活を通じて障害を克服して、できるかぎり社会生活に適応できるよう、療育支援を行い未発達の諸機能の発達促進に努めました。

8. 保健衛生

耳鼻科検診	5月8日
内科検診	5月29日、2月12日
歯科検診	6月6日
検尿	2月6日～2月7日

9. 年間行事

4月	4/6 前期支援始まり 入園式 保護者会総会 児童福祉週間プレゼント (県知事来園)
5月	親子遠足 (和歌山城公園) 内科検診 耳鼻科検診 母親教室 (茶話会) 保護者会見学 (和大付属特別支援学校)
6月	母親教室 (就学のお話) 歯科検診 保護者会見学 (県立紀北 支援学校・さくら支援学校・コスモス支援学校見学)
7月	七夕祭り行事 あおい夏祭り (ゲーム・お店屋さん・スイカわり) 自由参観日
8月	プールあそび (園庭) 夏休み (8/13~8/15)
9月	母親教室 (卒園児保護者懇話) 個人懇談会 9/30 前期終了
10月	10/1 後期支援始まり 親子運動会 母親教室 (茶話会)
11月	親子遠足 (片男波公園) 自由参観 母親教室 (発達障害専門医招致)
12月	親子クリスマス会 冬休み (12/29~1/4)
1月	1/7 支援始まり 親子制作教室
2月	節分行事 内科健診 日曜参観
3月	ひなまつり行事 個人懇談会 お別れ遠足 (みさき公園) 卒園式 新入園児1日体験通園 3/31 後期終了
その他	毎月1回 : 身体測定・避難訓練・誕生日会・作業療法支援・ 音楽療法支援・絵本読み聞かせの会 随時 : 園外保育 (和歌山城・市内の公園・JR和歌山駅・図書館・ スーパーマーケット・郵便局・神社・秋葉山)

10. 職員研修 2.34月ほど

各種の園外研修会に参加、また人権・虐待・安全管理について等内部研修を実施しました。

11. 園児募集

和歌山市役所や市保健センターを通じて園児募集を行い定員を確保しました。

12. 園児の防災対策

毎月避難訓練を行っています。

平成30年度 事業報告書

社会福法人あおい会 あさも園

あおい会経営理念である「人が生き生きと楽しい生活を送るお手伝いをする」に基づき、利用者さん本位の質の高いサービスの提供に努め、自立と社会参加の促進を目指し、利用者さんの意思決定に配慮した支援を行うとともに一人ひとりに応じた日中活動の提供と、共生社会の実現に向けて地域社会と一体となった取り組みを展開してきました。また、「権利擁護」と「災害対策・安全管理」の徹底を掲げ、各委員会を中心として討議・実践を重ねて参りました。

1. 事業内容

◇生活介護事業 (利用者数：30名)

利用者さんの日常生活の自立に必要な支援(食事・排泄・整容・着脱衣等)の提供、また創作活動(お花・フラダンス・太鼓・軽運動・手話ソング・音楽鑑賞・創作・ビデオ鑑賞・カラオケ・調理実習等)や生産活動(スポンジの袋詰め作業等)の機会を提供し、豊かな生活が送れるよう支援して参りました。

◇就労継続支援B型事業 (利用者数：24名)

やりがいを感じながら生産活動のできる内容(クッキー製造作業・スポンジの袋詰め作業)のものを提供し、生産する喜びとともに就労意欲の向上に努め、作業に自信と誇りが持てるよう支援して参りました。

2. 人権擁護・虐待防止対策

人権擁護推進・虐待防止委員会により、定期的な会議(二カ月に一回)を開催、権利擁護と虐待の防止に向けての研究・討議を行ないました。

さらに、人権擁護・虐待防止に関する職員の知識・技術の向上を図るため、計画的な職員の外部研修参加及び伝達研修等内部研修を実施しました。

また、職員の権利侵害に関する自己点検を行うことで、職員個々の人権に対する意識の向上、対応策等について検討して参りました。

3. 地域との交流

紀伊地域の文化祭“紀伊文化まつり”や“子ども見守り隊”への参加、また施設周辺の清掃活動などを実施して参りました。

4. 実習生の受け入れ

地域貢献・地域交流の一環として、また、社会に開かれた事業所として、中学校・支援学校生徒の職場実習、看護学校や福祉専門学校学生の福祉現場実習など積極的に実習生を受けて参りました。

5. 非常災害の予防と安全確保

毎月消防訓練・避難訓練を実施し、防災対策と利用者・職員の安全確保に努めました。

災害対策・安全管理対策推進委員会により、定期的な会議(二カ月に一回)を開催、災害対策・安全管理について研究討議・実践を行ってきました。南海トラフ地震等の備えについては、県の危機管理・消防課によるご助言も参考にして、給食委託事業者と災害時の食料確保についての話し合いを行い、備蓄についての方向性を持つことが出来ました。食料品以外の備え等の安全対策についても継続して取り組んで参ります。

6. 職員の資質の向上

各種研修会に参加、伝達研修等内部研修を実施し、職員の知識・技術の向上に努めて参りました。

7. 年間行事等

日 時	行 事 等
4月 6日	お花見会 (大池荘：紀の川市貴志川町)
5月 2日	就労班遠足 (りん空イオンモール)
11日	生活班遠足 (みさき公園)
15日	保護者会総会 (北コミュニティセンター)
6月～9月	グループ別希望外出 (プール・カラオケ・散策等)
7日	内科検診
10月17日	秋季運動会 (子ども・女性・障害者相談センター体育館)
28日	紀伊文化祭り (ふあんふあん出店)
11月 2日	日帰りバス旅行 (エキスポシティ)
8日	内科検診
12月 2日	和歌山県ゆうあいスポーツフェスタ (ビッグホエール)
12日	クリスマス会
28日	仕事納め

平成31年

1月 7日	仕事始め
10日	戎詣で (岩出市大宮神社)
3月10日	和歌山市社協祭り (ふあんふあん出店 あいあいセンター)

平成30年度太陽の丘事業報告書

(1) 施設の概要

- ① 所在地 和歌山県海南市上谷777-1
- ② 利用定員 生活介護：87名 短期入所(空床型)：6名
施設入所支援：70名
グループホームふぁんふぁん：8名
グループホームかつらぎ荘：4名
- ③ 居室構成 一人部屋(8) 二人部屋(7) 四人部屋(14) 計29室
- ④ 平成30年度の概要
 - * 太陽の丘は障害者総合福祉法サービス体系で、「全ては利用者さんのために」のスローガンのもと支援を提供しました。
平成30年度末の現在員は69名。

(2) 施設方針

施設方針「リスクマネジメントの充実で、大切な利用者さんを守って、がっちり信頼関係を築き、家族と利用者さんに安心を提供する」に則り、「利用者さんの生命・諸権利を保障」し、なおかつ一人一人の個性を尊重した利用者さんが安心・安全に生き生きと楽しい生活が送れる高品質で多様なサービスを提供し、施設らしさを感じさせない家庭的なサービス提供を行いました。

(3) 生活支援

「生活の場」としての衣食住の環境の充実を図ると共に、利用者さんの高齢化を念頭に置き、安全安心に生活できる場の提供を行えるように取り組みました。

また日常生活に必要な基本的習慣の自立を目的に、身辺処理・清掃活動に取り組み、更に毎日の積み重ねによって社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援に取り組みました。

(4) 日中活動

〔花係〕

花係の所属利用者さんは、22名。活動内容としては、スポーツフェスタで使われるゼッケンをフェスタ協会より委託を受けてのクリーニング作業、保護者会・職員からお持ち頂いた空き缶・新聞紙等のリサイクル作業を主に行いました。そして個々の身体機能や能力に応じたプログラムを作成し、運動レクリエーションとしてラジオ体操やウォーキングに取り組み、怪我や廊下の予防に努め各自にやりがい・生きがいを持ってもらう様な活動支援を提供しました。

〔鳥係〕

鳥係の所属利用者さんは、25名。

30年度は次の3つの目標を掲げ、活動に取り組みました。

① 「係単独の活動を行って、活動への定着を図る」

今年度は係単独で活動を行うように他の係と協力した結果、係別で行える活動が増えています。利用者さんも自分の所属係を自覚して、案内放送が流れたら自分が鳥係だと意識して作業場所に移動することが徐々に定着出来るようになってきました。

② 「活動内容を充実させて、意欲の向上につなげる。」

レクレーションの一つとして同じDVDやビデオを見て貰っていましたが、それをもう少し多様化したものを提供するために海南省児童図書館で貸し出されているDVDと紙芝居を活用して提供しました。特に好評だったのが紙芝居で、支援員が直接話しかけてというものなので、皆さん集中して参加し楽しんでくれました。

また作業で取り組むものとして、ブラシの袋詰めの新作業を導入しました。作業内容等が難しい面もあったんですが、「やりたい」と言う利用者さんの意欲が凄く見られました。他にも、玄関前の清掃及び洗車等にも取り組みました。

③ 「外出の機会をつくり、気分転換を図る。」

海南省児童図書館を利用者さんと活用しています。

そして、散歩も活動に取り入れて、体を動かす機会もつくっています。その中で散歩しながら体力を付けて貰って、健康維持・リフレッシュにもつながる活動に取り組みました。

〔宙係〕

宙係の所属利用者さんは、22名。

宙係は「体力的な要素」、「知覚的な要素」、「生活的な要素」この3点を軸とし、活動を行いました。

「体力的な要素」は、棟内・屋外での軽運動（音楽に合わせて体を動かす・トランポリン・ボール等の遊具を使用して体を動かす・散歩等）を中心に行い、体力の維持に努めました。高齢化が進んできている中、怪我の予防等にもつながるので少しでも体を動かして体力の維持をして頂こうと積極的に取り組んで参りました。

「知覚的な要素」は、DVD・音楽鑑賞、カラオケ等にて興味の刺激、感覚に刺激を与えるような活動に取り組みました。

「生活的な要素」は、シーツ交換・大掃除・部屋の掃除・衣類などの整理等を中心に行う事により、生活能力の維持・向上を図って参りました。

(5) 余暇活動支援

余暇活動として、「社会資源活用（短時間の外出）」などを企画・提案し、全利用者さんに社会に触れる機会を提供することを目標に余暇学習活動に取り組みました。そして利用者さんが、その人らしく生活を営むためには、さまざまな人との関わりを育て深める必要があると思います。施設に閉じこもったままではなく、社会に出てたくさんの刺激を受けて頂けるサービスの提供に取り組みました。

具体的な活動として、従来のプロ野球観戦や宝塚観劇、NGK観覧等のほか、皆が参加出来るということ（短時間の外出）を取り入れて行ってきました。その他歌謡コンサートは年1回実施の予定となっていました。予定していたコンサートが日程の都合上行くことが出来ず、来年度に持ち越すことになりました。

(6) 買物外出・パーソナルプランについて

平成30年度は、多くの利用者さんに外出の機会を提供させて頂くことを目標に取り組んで参りました。

パーソナルプランでは利用者さんの希望を前提に外出して頂き、またドライブ・買物等も行って頂く事で太陽の丘では、感じられない季節・空気感・食事を体験して頂ける取り組みを行いました。

*30年度パーソナルプラン/買物外出、一人あたり年4回

(7) 看護係

検診関連として年に一回歯科検診を6月に実施。平成31年3月に健康診断・血液検査・胸部レントゲン・尿検査を実施しました。また11月には、インフルエンザの予防接種(11月)を実施しました。日常的には感染予防として、皆さんに手洗いうがいの励行を実施しています。

次に通院についてですが、厚生病院の神経科・内科・外科・整形外科・眼科・泌尿器科、さいとう耳鼻科、吉村皮膚科・宮本病院・和歌浦病院・井内歯科・田尻内科に各種の通院を実施しました。肺炎・貧血・外傷等での入院がありました。

理美容につきましては、男女各月1回実施しております。

(8) 権利擁護会議

平成29年より内部研修、行き過ぎた支援（虐待）について3ヶ月に1回計年4回行いました。

(9) 年間行事

家族の方々と楽しいひと時を過ごし、交流を深め家族のきずなを確認することと併せ地域の方々との交流を目的に各種の行事を開催しました。

(10) 食生活

栄養面だけではなく雰囲気・献立・盛り付け・食器・食事マナーなどに配慮し、月に数回メニューを複数用意し食事選択の自由も考えた食事を提供しました。

また平日の昼食時には、利用者さんを4つのグループに分けて出来立ての副食を温かいうちに味わってもらえる食事を提供しました。

給食会議を開催し、嗜好調査を平成31年2月に実施し、食事の形態に関わる協議を行い、豊かで潤いのある食事の向上に取り組みました。

(11) 防災管理体制

太陽の丘防災計画に則り次の各種訓練を実施し、利用者さん・職員の火災・自然災害に対する意識向上をめざし防災対策の充実強化に取り組みました。

訓練内容／避難訓練(1回/月)

総合防災訓練(平成31年3月7日：海南市消防署員指導)

普通救命講習(平成31年3月12日：海南市消防署員指導)

防災設備器具の、維持点検の実施。(平成31年3月7日)

以上

平成30年度 療育センター A O I 事業報告

NO. 1

『利用者、保護者の方が、「明日も行こう」と思って頂ける事業所』になるよう、一人一人の思いにしっかり耳を傾け、利用者さんの体調、健康状態に配慮し、個別支援計画に沿って充実した活動を提供するよう努めます。

また、自立支援協議会に積極的に参加し、地域福祉に貢献していきます。

以上を念頭に平成30年度は事業計画また支援方針に基づき取り組みました。

〈療育センター A O I 事業内容〉

生活介護事業…もなみ・リアン（従たる事業所）	多機能型
就労継続支援B型事業…もなみ	
児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業…エトワール	多機能型
相談支援事業（一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援）…療育センター A O I	

☆もなみ（生活介護）

定員15名 契約利用者21名（H31年3月末時点） 平均利用者数17.9人 平均障害程度区分4.81

サービス管理責任者1名（就Bと兼務） 生活支援員4名（専従） 看護師1名（リアンと兼務）

28年度に21名の方との契約となって以後、受け入れ利用者数上限いっぱいのため新規の利用者さんはおらず、顔ぶれも変わっていません。

日々一人一人の利用者さんに向き合い、別紙の季節感ある行事や楽しい内容の活動（カラオケ、ドライブ他）、作業（ブラシ内職作業）活動を実施するなど、楽しんで過ごして頂ける内容を提供しようという事で一人一人見通しがもて、理解してもらえるように配慮しながら取り組みました。

作業工賃：一人当たり月額平均893円

☆リアン（重症心身障害者受け入れに特化した、もなみ生活介護の従たる事業所）

定員6名 契約利用者10名（H31年3月末現在） 平均利用者数4.7人 平均障害程度区分6.00

サービス管理責任者1名（就Bと兼務） 看護師2名（うち1名はもなみと兼務） 生活支援員1名（専従）

平成30年3月より1名の方と新たに契約を結び利用して頂いています。

今年度、高等部3年生1名、高等部2年生1名の実習生を受け入れており、3年生1名については来年度利用予定となっています。

利用されている方は、コミュニケーションが難しく、医療ケアを必要とされる方等であることから、表情や体調の変化に十分な配慮を心がける必要があります。

活動においてはスヌーズレンの理念を参考にした感覚刺激（エアートランポリン、アロマセラピー、光彩刺激等）、散歩、創作活動、ゲーム、また、季節感ある行事を実施し充実した日々を過ごして頂けるよう取り組みました。

療育等支援事業を活用し、隔週で、理学療法士の先生に来て頂いて訓練や、年1回海南市医療セン

ター小児科医師による診察を実施しており、保護者の方にも大変喜んで頂いています。

☆もなみ（就労継続支援B型）

定員10名 契約利用者15名（H31年3月末現在） 平均利用者数 9.6人 障害基礎年金1級受給者割合 49.92%

サービス管理責任者1名（生活介護と兼務） 職業指導員1名（専従） 生活支援員1名（専従）
目標工賃達成指導員1名（専従）

4月に1名の利用者さんが一般就労する目的で契約解除となるも、5月、6月に各1名と契約。3月に新卒で利用となるも、5、6月に入った2名の方が今年度末に他事業所へ移ることになる等、利用者の入れ替わりが頻繁にあり、4月1日時点で13人の方が利用している状況です。

作業はクッキー（製造・販売）事業、雑貨（内職・手芸）事業を実施、一人当たりの月額平均工賃は平成29年度4,684円で平成30年度は4,157円と若干下がっています。

原因として上記に記載した通りで、新たに来られた利用者さんへの対応等により生産力が低下したためですが、何とかこの程度の下げ幅で済んだところです。

今後、工賃アップをすべく内職の業者さんの協力や調整、また積極的にイベントに参加することで焼き菓子や手芸品の売り上げ、及び、認知度の向上を図るよう検討しています。

☆エトワル（児童発達支援・放課後等デイサービス）

定員10名 契約利用児11名（H31年3月末現在） 平均利用者数 4.0人

児童発達支援管理責任者1名（専従） 児童指導員1名（専従） 保育士2名（専従）

通常3～5名の利用者があり支援学校へ迎えに行き放課後対応をしてきました。

春・夏・冬の長期休暇には6～8名程度の利用者があり地域で暮らす障害児の活動場所として利用して頂くことが出来ました。

児童（子供）という事もあり、日頃から安全面での配慮を一番に考えながら活動を行っていますが、今年度も事故なく楽しく活動に取り組んで頂くことが出来ました。

活動内容は散歩や軽運動を日常的に行っていて、その他クッキングや音楽、制作、課外活動などを取り入れ、夏季はプールを含む水遊び活動で皆さん弾ける様に楽しむなど、集団での取り組みを中心に、個々に合わせた対応と発達支援、療育支援を実施しました。

※ 以上三つの事業については別紙の平成30年度行事報告をご覧ください。

☆療育センターA01（一般相談支援・障害児相談支援・特定相談支援）

平成30年度は相談支援専門員4名体制で事業を進めてきました。

特定相談支援事業として、地域の障害児・者（家族）の相談を受けていく中（本人や家族の悩み、福祉サービス事業所の調整、通院の同行や申請の代行など様々な生活のことについて対応している）海南市、紀美野町から委託相談支援事業所として委託されているため、海南海草圏域の自立支援協議会の運営（すべてにおける会議や研修などの企画運営など）や特定相談支援事業所の関わっている困難事例に対しても対応してきました。

相談件数においてもやはり少しずつ多くなってきていて、サービス等利用計画についても300件以上受け持っています。また委託相談支援事業所として自立支援協議会の運営に積極的にかかわるなど、職員は精神的負担も多い中、一人一人相談業務に従事してきました。

☆相談支援体制整備事業（アドバイザー）

和歌山市と海南海草圏域を担当エリアとして、自立支援協議会の運営、地域の困難事例について委託相談事業所とともに対応したりしてきました。また、和歌山県の自立支援協議会で各圏域の地域課題を検討してきました。

平成30年度 各事業年間実施行事

NO.2

月	実施内容	実施日	実施場所	備考
4月	花見(野上ふれあい公園) 買物	6日	野上ふれあい公園	買物(カフのパン)6日
	太陽の丘祭り販売	8日	太陽の丘	クッキング(スポンジケーキ)2日
5月	外食(イオンモール) 買物	25日、26日、27日	イオンモール	クッキング(ピザトースト)25日
	みどりの祭りクッキー販売	29日	みどりの祭り	クッキング(フルーチェ) 23日
6月	お楽しみランチ(松屋) 買物	7日、12日	松屋	クッキング(ワルチエ) 21日
	おやつカフェ(トマト&オニオン) 買物	23日~27日	トマト&オニオン	クッキング(ポテト) 18日
7月	プール(県障害者子供センター)	10日	県障害者子供センター	クッキング(チョコパフェ) 31日
	おやつカフェ(トマト&オニオン) 買物	20日	トマト&オニオン	買物(ココカラファイン) 2日
8月	プール(県障害者子供センター)	7日	県障害者子供センター	外食(サイゼリヤ)6日 外出(自然博物館)31日
	おやつカフェ(トマト&オニオン) 買物	28日	トマト&オニオン	クッキング(ポテト)20日 (ホットケーキ)30日
9月	外食(ほつこりさん6日、すたみな太郎12日)	6日、12日	ほつこりさん、すたみな太郎	買物(ココカラファイン)2日 (セイムス)8日
	海南医療センター販売月	15日	海南医療センター	(オークワ)15日 (デイリー)27日
10月	和歌山盲学校寄宿舎祭クッキー販売	15日	和歌山盲学校寄宿舎	(ファミリーマート)24日 (マクドナルド)29日
	合同中庭食会(カレ)	26日	合同中庭	お楽しみランチ(マクドナルド) 10日
11月	紅葉狩り(野上ふれあい公園) 買物	16日	野上ふれあい公園	プール(県障害者子供センター) 9日、16日
	市社協主催ふれあい交流会(海南総合福祉センター)	28日	海南総合福祉センター	クッキング(チョコパフェ) 19日
12月	クリスマス会	17日	海南医療センター	買物(ミスタードーナツ)6日 (カテリーナ)7日
	初詣(玉津島神社) 成人式	7日、9日	玉津島神社	外出(図書館) 6日
1月	お楽しみランチ(木の葉や) 買物	30日	木の葉や	クッキング(ピザトースト)24日
	初詣(玉津島神社) 成人式	8日	玉津島神社	買物(オークワ)9日 (ローソン)22日
2月	おやつカフェ(トマト&オニオン) 買物	18日、22日、25日	トマト&オニオン	外出(和歌山河川公園)22日 (わんぱく公園)30日
	センター職員会議(各事業今年度事業まとめと次年度事業計画・全体会議に手各事業報告・人権擁護研修会)	4日	センター	クッキング(カッパケーキ) 21日
3月	外食(王将、丸亀製麺、マクドナルドなど) 買物	11日、15日	王将、丸亀製麺、マクドナルド	クッキング(焼きそば) 27日
	近畿学術大会クッキー販売(ビッグ愛) 16日	16日	ビッグ愛	買物(マクト)25日 (すばら焼)26日 (ローソン)28日